

学校・幼稚園における働き方改革推進方針【概要版】

取組期間：R7～11年度（5年間）

基本方針

共有目標 「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」
教育の質の向上と次代への継承を目指して

目指す学校像 「子どもも大人もいきいきと笑顔あふれる学校」

目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、
次代と自らの未来を
創造する子ども

目指す教員像

教員としてのウェルビーイングを追求しつつ、
教育者としての職責を自覚し、常に自己研鑽
に努め、確かで幅広い力量をもつ教員

実行プラン

時間外在校等時間の縮減 + 教職のやりがいの中核としたウェルビーイングの向上

社会全体で子どもを
育む体制づくり

教職員のウェルビーイングが
向上する学校づくり

多様な専門性を持つ教職員による
魅力あるチーム学校づくり

具体的な取組

- (1) 教育委員会・学校による更なる業務改善と効率化
- (2) 管理職の学校経営力向上とマネジメントできる環境づくり
- (3) 職務・勤務の状況や柔軟な働き方に応じた環境・処遇改善
- (4) 学校・保護者・地域と共に考える「学校・教師が担う業務」の適正化

数値目標

時間外在校等時間の縮減

- ① **月80時間超えの教員「ゼロ」**
＜実績：89.0%の教員が達成（R5年度）＞
- ② **全ての教員が月平均45時間以内**
＜実績：75.3%の教員が達成（R5年度）＞

取組の詳細は
「取組一覧」として
毎年度作成

注視する指標

教職のやりがいの中核としたウェルビーイングの向上

- ① **教職のやりがい**：やりがいを感じながら、主体的に創造性を持って働いているか（ストレスチェック等の調査結果）
- ② **柔軟な働き方や同僚性**：相互に支援し合う職場体制や休暇制度の利用状況（ストレスチェックの調査結果や休暇制度の取得率等）
- ③ **メンタルヘルス**：精神疾患による休職者率や学校現場に復職した者の状況（休職者や復職者の割合等）

課題等

R2～6年度の取組に関する振り返り

R2～6数値目標 (1) 月45時間以内の達成 (2) 月80時間超えの教員「ゼロ」 (3) 年次休暇等休暇取得率

- ・ いずれも目標達成に向けて改善したものの、(3)の一部を除いて達成には至らず
- ・ 学校の課題は複雑化・困難化する一方、学校・教員への期待は高まっている。そのほか「教員不足による負担」「学校管理職の負担」「若手教員の育成・支援」等が主な課題であると認識